

定例記者会見報告事項(平成18年9月22日)

担当課	環境防災課
電話番号	47-1071

事業名等	境港市防災図上訓練
------	-----------

1. 訓練の概要

総務省消防庁・(財)消防科学総合センターが共同で実施する、市町村防災図上訓練推進モデル事業の市町村募集に応募したところ、境港市が選定(全国で8市町村)され、市職員を対象とする防災図上訓練と自主防災会を対象とする災害図上訓練(DIG)を行う。

2. 訓練日程等

1. 平成18年10月6日(金) 市職員を対象とする防災図上訓練

時間：午前10時から午後4時

会場：境港商工会議所 大会議室(3階)

目的：津波を伴う鳥取県沖地震を想定し、その初動期における災害対策本部を構成する市長以下の主な職員等が行うべき状況判断(意思決定)と役割行動の確認、並びに応急対策活動上の問題点・課題を把握する。

主催：境港市、総務省消防庁、(財)消防科学総合センター

参加機関：境港市(市長以下42人)、総務省消防庁(5人)、(財)消防科学総合センター(9人)、鳥取県(3人)、境港消防署(2人) 合計61人

2. 平成18年10月7日(土) 自主防災会を対象とする災害図上訓練(DIG)

時間：午前10時から正午

会場：保健相談センター講堂(1階)

目的：災害図上訓練(DIG)は、Disaster(災害)Imagination(想像)Game(ゲーム)の頭文字を取って名付けられ、大きな地図を使い、誰もが主人公になって積極的に参加できる防災訓練です。この地図を使った防災訓練のことを「ディグ」と読んでいます。地震や風水害、火災など市民生活の安全を脅かす出来事が発生した時に地域にどのような被害が発生し、どのような対応をとればよいのかなどを考える機会をつくり、みんなで一緒になって対策を考える。この訓練では、参加者が自分と自分の家族は言うに及ばず自分の町を自主的に守るために、災害が発生した瞬間からどのようなことをしなければならないかを整理する。

参加者：自主防災会の役員等(8自主防災会22人)

主催：境港市(4人)、総務省消防庁(5人)、(財)消防科学総合センター(9人)

参加者合計：40人